



全国大会優勝を目指す

中里中男子柔道部が町長を訪問

中里中学校の男子柔道部が7月3日(月)に濱館町長を訪問し、5月14日(日)に開催された第30回マルちゃん杯東北柔道大会の男子団体戦で2位入賞の報告をしました。それを受けて、町長は「とても素晴らしい結果だ。しかし、まだ上がいるので、これからも努力を続けてがんばってほしい」と激励しました。部長の片山雄心くんは「日頃の練習の成果を発揮できました。9月24日に行われる全国大会では優勝したい」と意気込みを語りました。

優良センターに選ばれる

町シルバー人材センターが表彰

公益社団法人中泊町シルバー人材センターが、全国シルバー人材センター事業協会からこれまでの功績を評価され、表彰を受けました。多年にわたり、地域の高齢者の就業に貢献し、無事故で会員就業率100%を達成したことで優良センターに選ばれました。また、同センターの近村敦理事長も、14年間にわたって事業発展へ多大な貢献をしたとして表彰を受けました。

7月18日(火)には、濱館町長を訪問し、表彰を報告しました。町長は「シルバーの活躍は町にとって重要なこと。生きがいを持って働き続けられる地域はいつまでも元気なので、これからもよろしくお願いします」と話しました。近村理事長は「これからも生涯現役社会の実現を目指して頑張っていきたい」と意気込みを語りました。



みんなで協力、安心で きる町へ

社会を明るくする運動

67回目を迎えた社会を明るくする運動は、犯罪や非行防止などを目的にそれぞれが力を合わせて行われる全国的な運動です。7月3日(月)に保護司と更生保護女性会合わせて32人が参加、町内パレードに先立って保護司会の2人が総理大臣と県推進委員長である県知事のメッセージを読み上げて濱館町長に伝達し、協力を求めました。

町長は「朝早くから活動ご苦労様です。安心安全なまちにしていくためにも、皆さんの活動はとても重要。これからも協力をお願いします」と話しました。パレード一行は、このあと町内11施設を巡回し、この運動をPRしました。

ブランドによるまちづくりを

中泊認定ブランド推進協議会設立

7月4日(火)、「中泊ブランド」によって、農林漁業と交流人口拡大による地域活性化を図ることを目的とした中泊認定ブランド推進協議会が設立されました。協議会は商工会、観光協会、漁協、農協、中泊活ハマクラブ、ばろかだる会、特産物直売所ピュアの代表者らで組織されています。町農村活性化施設で行われた1回目の会議では、会長である濱館町長から委嘱状が交付されたあと、ブランド推進計画について議論を交わしました。町長は「町の課題はたくさんある。この中泊ブランド戦略で明るい未来を創り出すための取り組みが図られれば」と期待していました。





防除作業の安全を祈願

航空防除安全祈願祭

航空防除作業を行っている(有)中里エアサービスと中里航空防除組合が、7月1日(土)に町集出荷予冷施設の駐車場で、防除用ヘリコプターによる作業前安全祈願祭を行いました。晴天となったこの日はオペレーターらが参加。作業に使用するヘリコプターを前にして順番に玉串を捧げ、真剣な面持ちで今期作業の安全を祈りました。

航空防除作業は7月下旬から9月上旬まで、町内外の水田や大豆畑で行われるとのこと。

運転ごくろうさまです

グループホームさくら利用者が呼びかけ

グループホームさくら利用者が、7月21日(金)奈良建材店前交差点で、通行するドライバーたちに交通安全を呼びかけました。

この日は、手作りのマスコットとうちわを配布しました。参加した利用者は、太陽の光が照り込むなか「暑いなかごくろうさまです。運転に気をつけてください」とドライバーに話していました。

ドライバーたちは「ありがとうございます。安全運転します」と利用者の声がけに答えていました。



日頃の感謝の気持ちを込めて

郵便局社員が海岸清掃活動

地域連携施策の一環として、日本郵便株式会社のがる部会に所属する郵便局社員ら49人が、7月9日(日)、小泊地域の青岩海岸付近で清掃活動を行いました。

清掃活動には子どもと一緒に参加する人もおり、熱心に海岸に漂着したゴミや藻類などを集めていました。

参加した人たちは「たくさんの漂着物があって大変だったが、きれいになった海岸を見ると、やって良かったという気持ちになった」と汗をぬぐいながら話していました。

元気に挨拶！おはよー！

中里地域の小学校で挨拶運動

中里地域の小学校で、6月29日(木)から7月4日(火)、朝の挨拶運動を行いました。副会長の塚本初子さんを中心とした中里地域に住む少年警察ボランティアの人たちが企画したもので、小学校の玄関などで児童らと「おはようございます」と声をかけ合いながら、ハイタッチ・グータッチをしていました。

挨拶した子どもたちは「朝から大きな声で挨拶した。ハイタッチが楽しかった」と笑顔で話していました。





優しさが咲かせるきれいな花

町小学校芸術鑑賞会

7月11日(火)町総合文化センターパルナスで、小学校芸術鑑賞会が開催され、管内の4小学校から全校児童が集まりました。今年は、劇団民話芸術座の民話劇「花咲き山」を観賞しました。花咲き山は、誰かが優しいことや親切なことをしたときに花が咲く山で、主人公のあやはもっときれいな花を山に咲かせたいと思っていました。あやの人を思う優しさが、大切なものを見失った人の心を変えて行く様子を、子どもたちは真剣な表情で見っていました。劇を楽しんだ児童らは「歌ったり踊ったりしていておもしろかった。お家でお手伝いしたら、花咲き山で花が咲くかもしれない」と楽しそうに話していました。

小泊中学校校舎建築計画一時保留へ

小泊小・中学校で説明会

小泊中学校の現校舎は、2008年度の耐震診断で「地震の震動や衝撃で倒壊、または崩壊する危険性がある」と診断されました。このため、町教育委員会では、アンケートの結果をもとに、新たに校舎を2018年度中に建設することを目指していました。しかし、児童生徒数が減少することを受け、小泊中学校のありかたを見直すことにしました。6月28日(水)には小泊小学校で、濱館町長から保護者に対して、「これまでの経緯や今後の情報提供はしっかり行う。ほかに選択肢がないか、改めて住民の声を聴き、検討していく」と説明しました。



地元小学生も健闘

第12回津軽地区小学生卓球選手権大会

日頃の練習の成果を試す津軽地区小学生卓球選手権大会が、7月2日(日)町体育センターで行われ、中里クラブや武田小学校、小泊小学校の地元小学生をはじめ、交流のある六ヶ所村や津軽地区を中心に200人を超える選手たちが参加しました。濱館町長が「わたしも卓球が大好きです。今日はとても楽しみにしてきました。練習の成果を発揮できるようがんばってください」と挨拶しました。試合が始まると、子どもたちは真剣な表情で1球1球に集中し、試合に臨んでいました。ポイントが決まるとガッツポーズや大きなかけ声が会場に響いていました。

練習の成果を発揮！大会新記録も

第13回津軽地区小学生陸上競技交流大会

7月9日(日)に行われ、津軽地域の小学校・クラブの選手約540人が参加し、日頃の練習の成果を出し合いました。結果は次のとおりです。(○数字が順位となります)

※中里ジュニアクラブ=中里Jr. **男子**…2年100m③加藤翔也(中里小) / 3年100m①坂田光盛(中里小) / 5年100m①鈴木力(中里Jr.) / 6年100m②鈴木龍星(中里Jr.) ※大会新 / 共通4×100mR①中里Jr. ※大会新 / 共通走高跳①成田来河(中里Jr.) / 共通走幅跳①外崎隼矢(中里Jr.) **女子**…1年100m②山田己尋(中里小)、③肥後愛沙(中里小) / 4年100m①加藤心春(中里Jr.) / 6年100m③中畑里穂(中里Jr.) / 共通4×100mR②中里Jr.



第12回西つがる北五ブロック小学生陸上競技記録会

7月23日(日)、運動公園陸上競技場で行われ、西北五地区の小学生選手たち約420人が参加しました。選手たちは自己ベスト更新を目指し、真剣に競技に臨んでいました。結果は次のとおりです。(○数字が順位となります)

男子…1年100m③白塚逞人(薄市小) / 2年100m③加藤翔也 / 3年100m①坂田光盛、②野藤柊吾(中里小)、③鈴木孝樹(中里小) / 5年100m①鈴木力 / 共通200m①鈴木龍星 / 共通4×100mR①中里Jr. / 共通走高跳①荒関天空(中里Jr.) / 共通走幅跳①外崎隼矢 **女子**…未就学児60m③野藤柚香(中里こども園) / 1年100m②山田己尋 / 2年100m①木元咲希(武田小) / 4年100m②加藤心春 / 5年100m③小野菜美(中里Jr.) / 6年100m②中畑里穂、③三上音羽(中里Jr.) / 共通4×100mR①中里Jr. / 共通走幅跳②佐藤姫来(中里Jr.)



トマトはどうやって家にくるの？

中里小3年生がふるさと何でも学習

中里小学校3年生が6月28日(水)、ふるさと何でも学習を行い、町特産品のトマトの勉強をしました。はじめに学校給食にトマトを提供している小野隆文さん(八幡)のビニールハウスを見学。中に入ると「トマトのにおいがする。緑色のトマトだ」と驚いていました。トマトの作り方やどのくらいの量が獲れるのかなど、たくさん質問していました。次に、つがるにしきた農協のなかどまり青果連で、トマトの出荷作業を見学しました。トマトが機械で運ばれ、同じ大きさに分けられることに興味津々でした。最後は特産物直売所ピュアでトマトが売られている様子を見学。またトマトを使った加工品を探したり、知っている野菜を探したりと元気に探検していました。子どもたちは「トマトを食べるまで、いろんな人がお仕事をされていてびっくりした。給食で出たら残さず食べる」と話していました。

初めてのサザエカレーに舌鼓

中里小5年生は小泊でふるさと何でも学習

中里小学校5年生が6月29日(木)、小泊地域でふるさと何でも学習を行いました。はじめに日本海漁火センターで小泊漁協婦人部の指導で、サザエ入りカレー作りに挑戦。児童らは役割分担しながら協力してカレーを作り、全員で食べました。初めてのサザエ入りカレーを食べた児童らは「おいしい、サザエがいっぱい入っていてラッキー」と嬉しそうに食べていました。次に、中泊活ハマクラブによる市場歩き探検ツアーに参加しました。小泊漁協施設を見学するもので、この日は製氷庫の仮置き室の大型冷蔵庫でマイナス10度の世界を体験したり、市場で水揚げされたばかりの魚介類を見学したりしました。



小泊地域の漁業を学ぶ

薄市小5年生が小泊漁協施設を見学

薄市小学校5年生が7月3日(月)、小泊地域でふるさと学習を行いました。はじめに小泊漁協施設でマグロやブリ、鯛などが水揚げされる様子を見学したり、製氷庫の大型冷蔵庫で真冬のような温度を体感したりしました。次に、水産商工観光課職員から小泊地域で水揚げされる魚の種類、漁法などを学びました。児童らは、真剣な表情で説明されたことをノートに書き込んでいました。子どもたちは「マグロやブリなどいろいろな魚が獲れると初めて知った。でも漁獲量が少なくなっていると知って驚いた。資源を大切にしたらたくさん魚が獲れるようになったらいいと思う」と話していました。



地元産業への理解を深める

小泊中1年が漁業について学習

小泊中学校1年生が7月13日(木)、小泊漁協施設でふるさと何でも学習を行いました。市場でメバルやエビ、もずくなどの魚介類を見学後、鯨ヶ沢漁港事務所職員から小泊の漁業に関する講義を受けました。生徒たちは、真剣な表情で講義を聴き、地元の産業への理解を深めていました。その後、学校へ移動してからは、小泊漁協婦人部の指導のもと、サザエ入りカレー作りを行いました。慣れない手つきながらも一生懸命に協力しながらカレーを作り、できあがってからは、全員で試食しました。サザエの風味がきいたカレーを味わった生徒は「サザエがやわらかくておいしい」とたくさんおかわりしていました。

